

小児科

Pediatrics

ユニット責任者：小児科学 教授 清水 直樹

ブロック名		期間	ブロック責任者
第3ブロック	小児科③	6月24日～6月27日	勝田 友博
第4ブロック	小児科④	12月16日～12月19日	古田 繁行

1. ユニット概要・学習内容

第1、2ブロックで既に学んだ小児特有の病態生理の知識を活用し、小児の感染症疾患、呼吸器疾患、心臓疾患、悪性腫瘍疾患、外科疾患についての各論を学ぶ。

第3ブロック：小児期に特有な感染症・免疫不全疾患、呼吸器疾患、後天性心疾患、小児がんの病態、診断、治療を学ぶ。学校保健に関連する法令を学ぶ。

第4ブロック：小児外科疾患について、その病態を理解し、診断と治療の結びつきを学ぶ。胎児期、新生児期、乳幼児期、学童期で異なる疾患の特徴を理解する。

2. 到達目標

- 1) 先天性感染症の起因微生物を列挙し、治療、予防方法を説明できる。
- 2) 小児感染症の年齢別起因微生物を列挙できる。
- 3) 小児感染症の病態、診断、治療を各臓器別に説明できる。
- 4) 小児感染症の病態、診断、治療を起因微生物別に説明できる。
- 5) 小児に推奨されている予防接種を列挙し、それぞれの特徴、疫学を説明できる。
- 6) 小児期の免疫不全疾患を列挙し、病態、診断、治療を説明できる。
- 7) 学校保健に関連する法律の基本的な内容を説明できる。
- 8) 小児呼吸器疾患を列挙し、病態、診断、治療を説明できる。
- 9) 小児後天性心疾患を列挙し、病態、診断、治療を説明できる。
- 10) 小児がんの疫学、病因の特徴を説明できる。
- 11) 代表的な小児がん疾患を列挙し、病態、診断、治療を説明できる。
- 12) 小児の頭頸部・肺の外科疾患を列挙できる。
- 13) 肥厚性幽門狭窄症の術前点滴管理ができる。
- 14) 腸重積の診断と治療を説明できる。
- 15) 臍周辺疾患を列挙できる。
- 16) 学童期の急性腹症の原因となる疾患を列挙できる。

- 17) 先天性胆道閉鎖症の診断と治療を説明できる。
- 18) 先天性胆道拡張症の診断と治療を説明できる。
- 19) 鼠径ヘルニアと陰嚢水腫の違いを説明できる。
- 20) 停留精巣と移動性精巣の違いを説明できる。
- 21) 胎児診断できる疾患を列挙できる。
- 22) 新生児外科疾患の診断と治療を説明できる。
- 23) 小児腹部固形腫瘍についてその特徴を列挙できる。
- 24) 小児の点滴と経腸栄養管理を説明できる。

3. 学習上の注意点

小児科学、小児外科学の講義内容は多岐にわたっているため、講義当日にすべてを把握することは困難である。したがって、事前に教科書、参考書、文献などで予習することが大切である。

4. 教科書・参考書

教科書：

- 『標準小児科学 第8版』（医学書院）2013年
- 『NEW小児科学 改訂第2版』（南江堂）2003年
- 『標準小児外科学 第7版』（医学書院）2017年
- 『系統小児外科学 改訂第3版』（永井書院）2013年

参考書：

- 『ネルソン小児科学 原著第19版』（エルゼビア・ジャパン）2015年
- 『Nelson “Textbook of Pediatrics” 20th ed,』（ELSEVIER）2015
 …世界中の医学生、小児科医が最も利用している小児科学最高峰のテキスト。
- 『Moffet’s Pediatric Infectious Diseases, 5th ed』2017
 …Moffet博士によるユニークな問題志向型アプローチから、読者を診断と治療に一步一步導く。小児感染症学最高峰のテキスト。
- 『Pediatric Surgery, 7th ed』（Mosby）2012年

5. 成績評価

評価項目	実施回数	評価割合	備考
定期試験	2	90 (%)	前期・後期期末試験期間中に実施する。
授業態度		10 (%)	出席状況や授業態度を成績に加味する。

当ユニットでは学年末再試験を実施する。

6. オフィスアワー

所属	役職	氏名	時間	場所	連絡先
小児科	教授	清水 直樹	未定	医学部本館 3階小児科医局	内線 3321
小児科	講師	勝田 友博	火・金曜日 9時～12時	〃	〃
小児外科	教授	北川 博昭	火・水曜日 9時～13時	医学部本館 2階小児科医局	内線 3222
小児外科	准教授	古田 繁行	木・金曜日 9時～12時	〃	〃